

高山市合併10年記念映画

きみとみる風景



主人公/田口梓 役 古山まどか さん
(女優 芸名 松田まどか)

高山出身で現在は東京在住。平成12年、小学6年の時、映画「NAGISA」でデビュー。その年、キネマ旬報ベストテン新人女優賞受賞。ロケ期間中、多くの旧友との再会もありませんでした。

市では、合併10年を記念して映画を製作しました。高山の魅力的部分や失われていく部分を含め、人との出会いを通して記憶の中にある「こころの風景」をたどっていくような映画にしたい、という思いのもとスタートしました。制作は、市と一般公募による製作委員会、そして今西監督ら趣旨に賛同し集まってくれた映画関係者です。オーディションのうえ決定したキャストと一般公募のエキストラは、地元のみなさんと出身者。古い町並や高山祭をはじめ、農山村集落、学校、飛驒の山々など35カ所におよぶロケを市内全域で行いました。

きっと見覚えのある風景に出会えるはず。高山市を舞台に10歳の子どもたちと描いたところやさしくなる物語をお楽しみ下さい。

監督・脚本/今西祐子 さん
東京出身・在住の現役の監督、脚本家。オーディションやロケハン(ロケ候補地選び)を通して、高山で出会った人のあたたかさをベースに市民と物語をつくりました。



あらすじ

フォトグラファーの田口梓(26歳)は、“郷愁”をテーマに作品を撮ることになった。そんなある日、撮影の仕事で小さいころに住んでいた高山に行くことになり。見覚えのある風景、地元の人たちとの出会いを通じて…

ロケ日記抜粋紹介

ロケは平成26年10月4日～12日の9日間。広い高山で、移動に使用したマイクロバスの総走行距離は1,412km。市民による主なキャストは30人、エキストラは100人を超えました。製作委員会が作成したロケ日記からその様子の一部を紹介します。ロケ日記は下記のホームページまたは地域政策課(本庁4階)、各支所地域振興課でもご覧いただけます。



とある廃校(荘川地域:旧黒谷小学校六蔵分校)。幻想的な朝露の中、いよいよロケがスタート。



とある道で(国府地域:上広瀬集落の道)。梓と子どもたちが話しているうちに、お互いの心が開かれて…



とある山頂(丹生川地域:十二ヶ岳)。台風接近に悩まされながら幾度も山登りに挑戦。果たして感動の場面は…



とある湖畔(朝日地域:美女高原)。高山出身の女優、松田まどかと森林永理奈の共演も見ものです。



朝晩の食事は市民が交替で、お昼は各ロケ地で地元の方々がおもてなし。思わずお腹も笑顔もいっぱいひととき。



最終日、最後のロケ地は三枝小学校。全ての撮影が無事終了しクラクアアップ。最後はみんな記念撮影!

製作委員会ホームページ <http://www.takayama-movie.jp/>

●事前申込不要で、どなたでも参加できます。皆様お誘い合わせのうえ、市民文化会館へぜひご来場ください。